

ブレインストーミングの4原則

1. 判断・結論を出さない（結論厳禁）
自由なアイデア抽出を制限するような、批判を含む判断・結論は慎む。判断・結論は、ブレインストーミングの次の段階にゆずる。ただし可能性を広く抽出するための質問や意見ならば、その場で自由にぶつけ合う。たとえば「予算が足りない」と否定するのはこの段階では正しくないが、「予算が足りないがどう対応するのか」と可能性を広げる発言は歓迎される。
2. 粗野な考えを歓迎する（自由奔放）
誰もが思いつきそうなアイデアよりも、奇抜な考え方やユニークで斬新なアイデアを重視する。新規性のある発明はたいてい最初は笑いものにされる事が多く、そういった提案こそを重視すること。
3. 量を重視する（質より量）
様々な角度から、多くのアイデアを出す。一般的な考え方・アイデアはもちろん、一般的でなく新規性のある考え方・アイデアまであらゆる提案を歓迎する。
4. アイディアを結合し発展させる（結合改善）
別々のアイデアをくっつけたり一部を変化させたりすることで、新たなアイデアを生み出していく。他人の意見に便乗することが推奨される。

誘導語(guide word)として、無(no)、逆(reverse)、他(other than)、大(more)、小(less)、類(as well as)、部(part of)、早(early)、遅(late)、前(before)、後(after)という11種類で分析する。

~~~~~  
~

## 22世紀学会のブレインストーミングの目的

1. 知名度を上げる。
2. 会員を増やす。
3. 出席者を増やす。
4. 発言を増やす。
5. 会員の協力を増す。
6. 運営資金を獲得する。

7. 問題解決依頼を増やす。

もしも賞金がもらえたなら（取らぬ狸の皮算用）

（A案）賞金を出席者全員で均等に分配する。

（B案）アイデアを出した出席者に多く配分する。例：10倍

（C案）22世紀学会に全額寄付する。

例：研究会費を無料にする。年間60万円

事務所を借りる。年間120万円

バイトを雇う。年間60万円

発表者に講演料を払う。年間48万円

備品を買う。パソコン20万円

（貴方の案）募集中。